



進路だより

揖斐特別支援学校

キャリア支援部 第9号



～ 未来へはばたくみなさんへ ～

令和7年度 2月発行

池田町役場前の様子です

～輝く岐阜のアスリートたち～

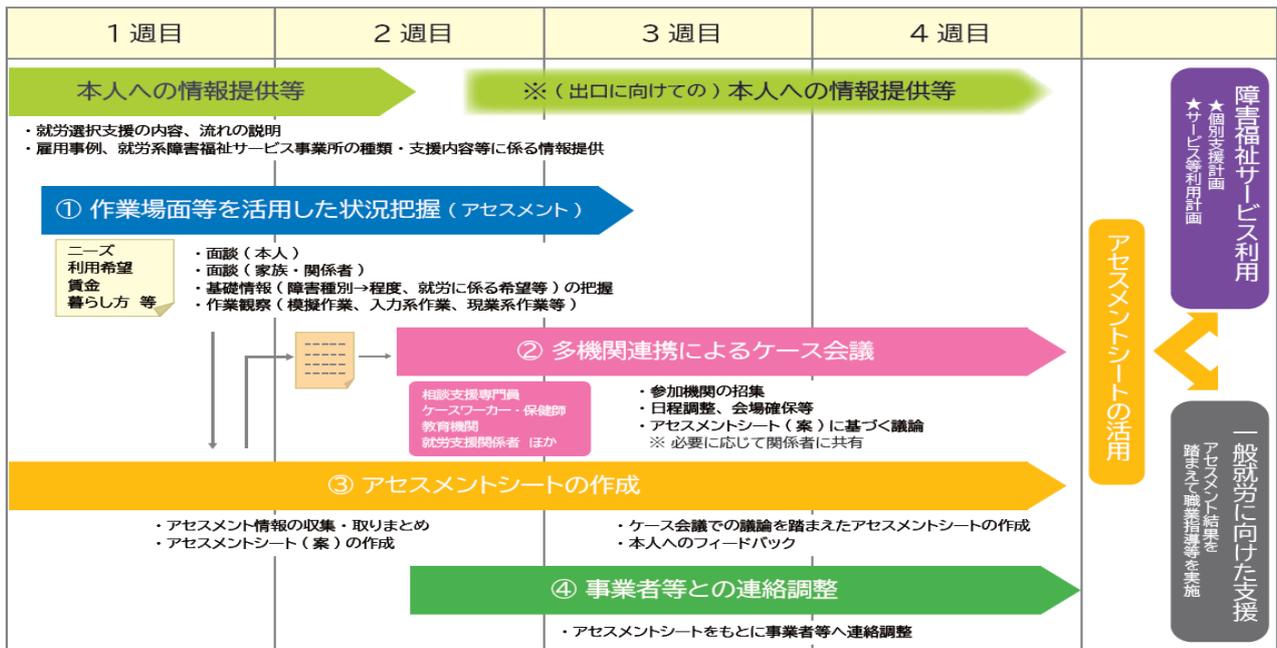
ミ ラノ・コルティナ冬季五輪とても盛り上がりましたね！みなさんは、テレビ等で観戦しましたか？
ミ 競技ごとに様々なドラマがあり、どれも感動しましたが地元のアスリートが活躍したことを知っていますか？岐阜市出身の村瀬心椋（むらせここも）選手がスノーボード女子ビッグエアで、**日本女子では初の金メダル獲得**を果たしました。4年前の北京大会での銅メダルを、金メダルへと見事に昇華させ、日本中が感動と熱狂に包まれました。2冠を目指したスノーボード女子スロープスタイルでは、大技を次々に成功させ、奇跡の逆転劇を予感させましたが、**銅メダル**でした。インタビューでは、悔しさをにじませていたのが印象的でした。また、池田町出身の堀島行真（ほりしまいくま）選手がフリースタイルスキー男子モーグルで**北京大会に続き銅メダルを獲得**しました。そして五輪新種目の男子デュアルモーグルでは、**見事銀メダルを獲得**しました。試合後のインタビューで、今後の金メダル獲得へ向け意気込みを聞かれ「たくさんの方々の支えをもらいながら、今後も4年間とか、8年間とかそういうスパンで見ていかなければいけないので、そういった方々に感謝しながら今後も歩んでいきたいなと思います」と述べていました。すでに4年後の冬季五輪**フランス大会**をイメージしていました。アスリートたちのコメントを聞いていると“感謝”の気持ちが常にあります。**毎日たゆまぬ努力を続けて成長を目指し、同時に周囲への感謝の気持ちを忘れない、謙虚で前向きな姿勢**こそが、「昨日よりも良い自分」へ**アップデートし続ける**ことになります。“日々努力！日々感謝！！”私達もこの気持ちを大切に、毎日生活したいですね！！

日本のメダル数 24個【金5 銀7 銅12】

就 労選択支援事業のサービスが始まり、5か月目に入りました。従来の就労移行支援や就労継続支援A型・B型とは異なり、就労選択支援は「**就労に向けた準備段階**」に特化したサービスです。

スタート当初の10月には、西濃圏域に「就労選択支援事業所」がありませんでしたが、12月に株式会社 Noto カレッジ（大垣市）が“**就労選択支援事業 Noto カレッジワークジョイ**”を開設しました。今年度「進路だより」の第3号でも就労選択支援事業の特集を組みましたが、保護者の方には伝わっていない内容も多いと感じています。来年度以降の就労選択支援事業のサービス利用に向けて、具体的な概要や手続き等については、来年度改めて保護者の皆様に説明の場を設けたいと考えています。

先日、就労選択支援事業 Noto カレッジワークジョイの就労選択支援員の方と面談する機会があり、支援内容とサービスの流れについて説明を受けました。**裏面に大まかな支援内容とサービスの流れ**を示します。



★本人や保護者の方が関係してくるのは、上記①作業場面等を活用した状況把握（アセスメント）と②他機関連携によるケース会議になります。

①作業場面等を活用した状況把握（アセスメント）

聞き取り（本人・保護者等の面談）と作業観察等を活用して**利用者の現状把握**を行います。
アセスメントは「進路の検討」であり、**就労の可否を判断するものではありません。**

アセスメント日程や実施期間については、市町村、相談支援事業所、特別支援学校等との調整が必要になります。実施期間は、一週間程度を予定しています。

アセスメントは、**基本的に就労選択支援事業所にて実施します。**（状況によって特別支援学校に就労選択支援員が外向き、教育課程に位置付けられた校内実習や作業学習等を観察することも可能）

②他機関連携によるケース会議

就労選択支援利用後の適切な支援につなげていくための会議になり、自己理解を促すとともに、本人の主体的な選択を支援することを目的とします。【アセスメントシート（案）の内容をもとに議論を行います】

<参加予定者>

○本人・保護者、就労選択支援員、相談支援事業所、担任、市町村等

※どの就労選択支援事業所を選ぶかは、サービス利用者が決めますが、現時点で、西濃圏域での就労選択支援事業所は株式会社 Noto カレッジのみです。西濃圏域には、当校以外に大垣特別支援学校・海津特別支援学校・西濃高等特別支援学校があり、アセスメント時期が重なることも考えられます。そこでキャリア支援部として、スムーズにサービスを利用できるように、**山県市にある就労選択支援 Pasito（パシート）**にも協力依頼をし、快くご承諾いただきました。今後、**利用希望者を募り夏季休業日等に、学校単位（複数人）で実施できるように**進めていく予定です。